



デバイスの接続性

- [デバイスの接続性 \(1 ページ\)](#)

デバイスの接続性

デバイスが Crosswork Data Gateway にリンクされて Crosswork Cloud Traffic Analysis または Crosswork Cloud Trust Insights に追加されると、Crosswork Data Gateway とデバイス間の接続をモニターするためのポリシーが自動的に作成されます。Crosswork Data Gateway がデバイスとの接続を失うと、アラームが生成され、[アラーム (Alarms)] ページ (🔍) > [モニター (Monitor)] > [アラーム (Alarms)] に表示されます。

デバイス接続の詳細を表示したり、重大度レベル、モニター対象デバイスのリスト、または通知エンドポイントを更新したりするには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 🔍 または 🏠 > [設定 (Configure)] > [ポリシー (Policies)] の順に選択します。

[デバイス接続 (Device Connectivity)] で、アクティブなアラームの数、モニター対象のデバイスの数、および最新のアクティブなアラームを持つデバイスを表示できます。

ステップ 2 [デバイス接続 (Device Connectivity)] で、[詳細 (Details)] をクリックします。

ステップ 3 デフォルトでは、[概要 (Overview)] タブに現在のデバイス接続のポリシー設定が表示されます。

ステップ 4 アラームの詳細を表示するには、[アラーム (Alarms)] タブをクリックします。このページから、[デバイス接続の喪失 (Lost Device Connection)] アラームをクリックして特定のアラームの詳細を確認したり、[アクティブ (Active)]、[確認 (Acknowledge)]、または [履歴 (History)] のタブ間を移動したりできます。

ステップ 5 アラームの重大度やモニター対象デバイスのリストを変更したり、エンドポイント通知の設定をしたりするには、[編集 (Edit)] をクリックします。

- [トリガー (Triggers)] > [デバイスルール (Device Rules)] > [重大度 (Severity)] ドロップダウンメニューで、重大度を選択します。

- b) [データ (Data)] で、[変更 (Modify)] をクリックして、モニターまたは無視するデバイスを更新します。
 - c) [アクション (Actions)] で、既存のエンドポイント通知を変更、もしくはさらに追加できます。設定できるエンドポイント通知のタイプの詳細については、[通知エンドポイントについて](#) を参照してください。
 - d) [保存 (Save)] をクリックします。
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。